

## 『北阪昌人のラジオドラマ脚本入門セミナー』 レジューメ

### 3, セリフ講座②

(テキスト P 26～P 34)

「セリフは、嘘をつく」

私たちは、日常生活の中で、小さい嘘をたくさんついています。

極論すれば、うまいセリフとは、嘘をついたセリフです。好きな相手に「嫌い」

というからドラマが生まれます。特に、ラジオドラマは、心を描くのに最適な形

態。モノローグ、心の声で本音を言い、セリフでは嘘をつく。これが基本だと思

ってください。ともすれば、今会ったばかりのひとに自分のトラウマなどを正直

に話すセリフを書いてしまいますが、日々の暮らしでなかなかそういうことには

なりません。リスナーに、「そんなことあるか？」と一瞬でも思われると、思考

は停止し、聴覚だけのドラマは、集中力が切れ、その先を聴かれなくなってしまう

う危険性があるのです。

もうひとつ、うまいセリフ術のポイントは、順番を変える、です。

「今日は、お昼に、カレーうどんを食べた」というセリフも、

「食べたんだよ、今日のお昼、カレーうどん」と順番を変えるだけで、

話した人物が何をいちばん言いたいのか、思いが伝わってきます。

課題2：閉ざされた空間での男女の会話